

2線式について

VAISALA

ヴァイサラ株式会社

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-105

神保町三井ビルディング16階

TEL: 03-5259-5960 / FAX: 03-5259-5961

Email: sales.japan@vaisala.com

URL: www.vaisala.com/ja

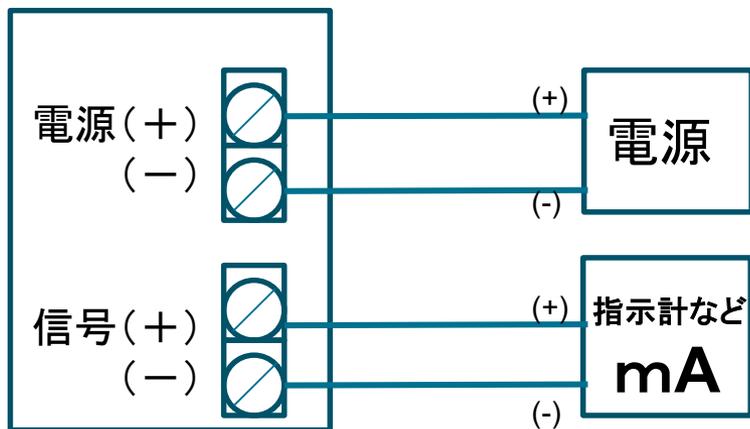
※ 本資料の無断での引用、複写、配布、転載を禁じます。

2019.07

2線式とは

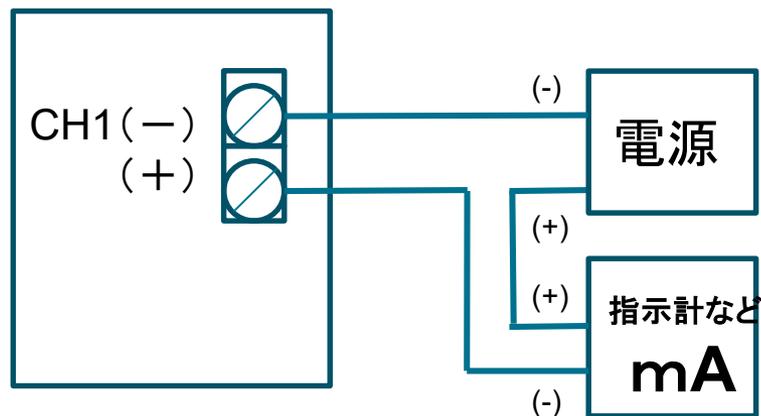
電流信号を出力する変換器には、4線式と2線式があります。

4線式



4線式では、電源2線と信号2線が分かれています。
例：HMT330など

2線式



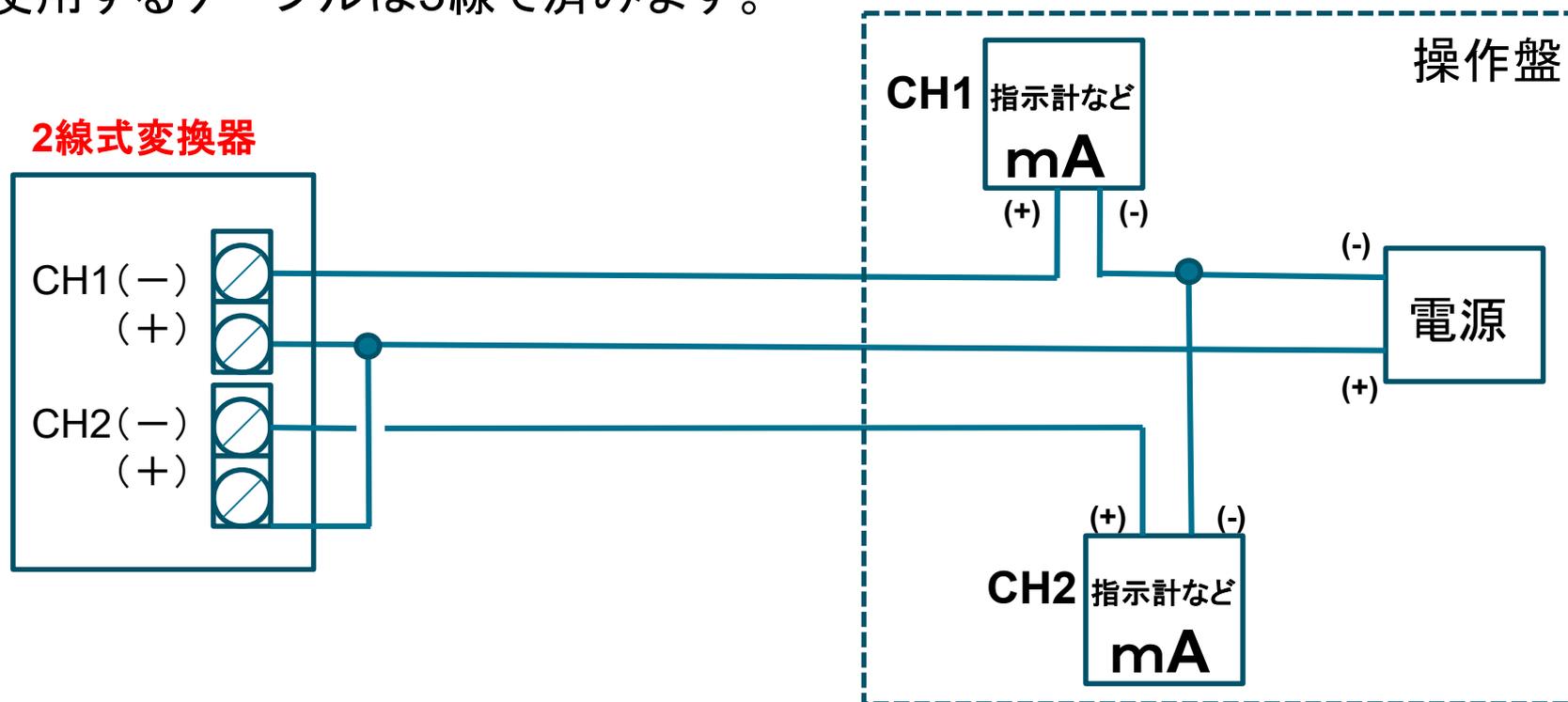
2線式では、供給電源の消費電流がそのまま電流信号(4~20mA)になります。
例：HMT120、HMW80/90など

※<注意>端子の並び方、呼び方は機種によって異なります。

2線式の特徴

2線式は、配線数が少なくて済むので、経済的です。
ケーブルを長く引く場合には、配線コストを大幅に下げることができます。

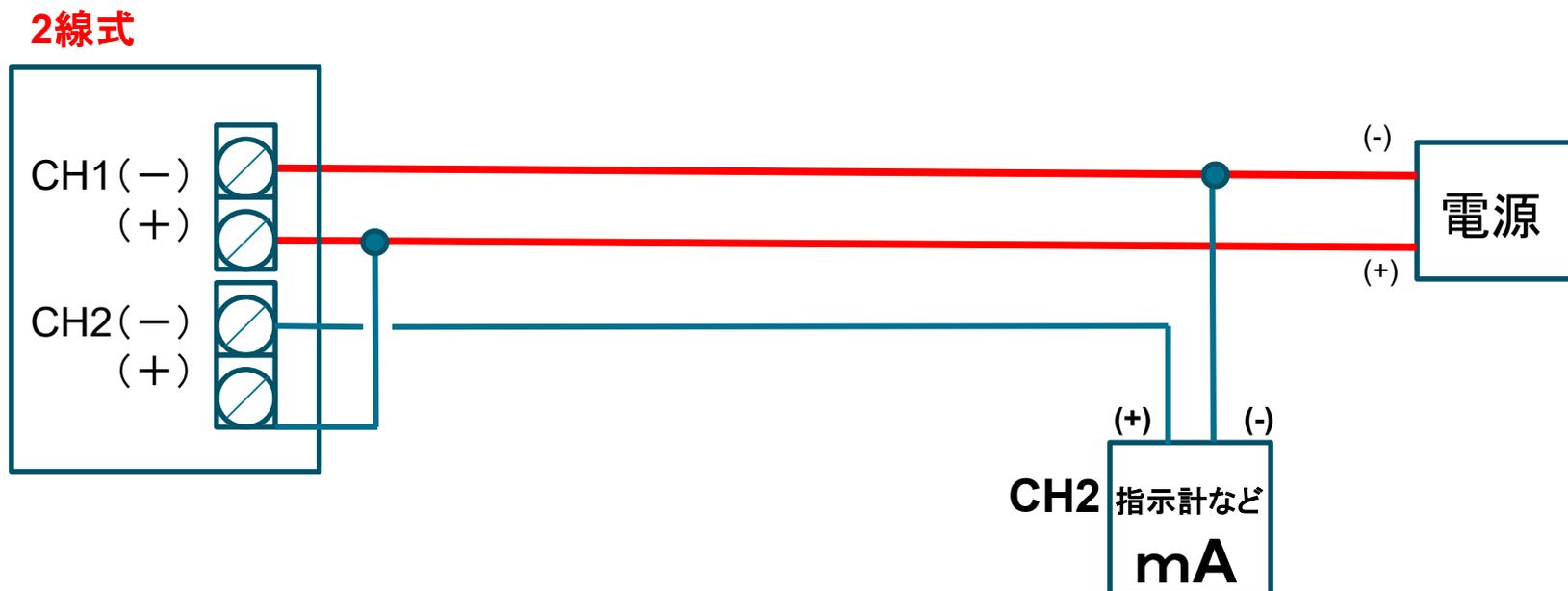
例えば2CH(例えば湿度と温度など)の信号を取る場合には、電源は1つ、
使用するケーブルは3線で済みます。



※<注意>端子の並び方・呼び名は機種によって異なります。

ご使用上の注意

2線式の変換器では、CH1(またはRH)が変換器の駆動電源になっています。従ってCH2(またはT)のみを測りたいときにもCH1(またはRH)に電源を入れて頂く必要があります。



※<注意>端子の並び方・呼び名は機種によって異なります。